

# 台風15号の強風と豪雨で圃場が大きな変化が

2011年9月18日(日)～25日(日)報告 記:中門  
相模川湘南地域協議会、さむかわエコネット自然環境部会

- 1) 3度の冠水も乗り越えたカワラノギクも今回の強風と豪雨では全て下流に向かって倒されて一部が地下茎で何とか生き残っています。
- 2) 手の施し様がないので”カワラノギクの生命力”に期待して見守ることにしましたが、杭とロープが流された圃場は無防備で危険な状況です。

### 【9/21(水)15号台風接近時の圃場】

・14:15頃の圃場は相模川の増水で4回目の冠水が始まりました。夜半にかけて更に増水して河原入口近くまで冠水しています。



### 【9/22(木)圃場はまるで池の様?】

・増水で冠水した圃場は昼過ぎに姿を現し溜め池のようですが、早く引く高い所には”カワラノギク”が見えます。



### 【9/23(金)圃場が玉石河原に変身】

・今回は水流が速く水が引くのが早かったため泥の堆積とシルトは残らなかった。一面を玉石が覆っています。



### 【根毛が出て痛々しいカワラノギク】

・全ての苗が下流に向かって倒されて、大半の苗は根毛が出て地下茎で何とか留まっている状態です。



### 【9/25(日)夕刻の3日後の状況】

・3日前と大きな変化はありませんが、むき出しになった根毛が痛々しく感じられます。泥を乗せてやりたい心境ですが、心を鬼にして見守ります。



### 【圃場の杭とロープも跡形なし】

・12号台風で一部倒されたが残っていた杭とロープは流され圃場が剥き出しで危険に曝されています。



### 【心配事が現実になり無念!】

・圃場の中央で何かを燃やした後が有り、近くの”カワラノギク”が焼けている。人は何でこのような悪さをするのでしょうか?



### 【簡易の杭とロープで囲うが不安!】

・早く杭とロープを張っておけば良かったと後悔しながら”簡易の柵”を作成しましたが、丈夫な柵と注意書きが必要です。

